

スルガマリンが優勝

中学生大会 「ライオンズ杯」



初優勝したスルガマリナールズのナイン

夏の全国大会が中止となった中学生チームにとって、高校1年生以下によるヴェーナス代替大会「U16チャレンジャマッチ」となるが数少ない大会となった「ライオンズ杯」。スルガマリンが、決勝でAFB・BATS（東京）を5-0で下し優勝しました。

スルガマリンは、U16大会では、3回戦で、お姉さん、高校チームに敗退。「悔しい思いがあったので、自分の代で優勝したかった」という中谷日

菜香主将は、「先頭の自分が盛り上げなくてはと思っていた」と、自らのバットで先頭打者ランニング本塁打。3回には副将の4番・野田若菜内野手が「4番で迷いなく振るのが役目だと思っていました」と、適時二塁打で加点し試合を決めました。スルガマリンは優勝までの3試合を21得点無失点と、圧倒的な力をみせました。

静岡県の東部・函南町が本拠地ですが、同県中部や伊豆から参加するメンバーもいて全員が集まる機会が限られるため、平日の自主練を重要視しています。今年はコロナで3か月近く全体練習ができなかった時期がありました。中谷主将らがグループ・LINEを使ってナインをまとめたといいます。3年生9人のほとんどは今後、それぞれの道で野球を続けますが「中学生だけの大会はこれだけだったので、全員が一つになり取れた優勝」（中谷主将）と、タイトル獲得を喜びました。